



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月7日

上場取引所 名

上場会社名 マックスバリュ中部株式会社

コード番号 8171 URL <http://www.mv-chubu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 正木雄三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事・総務・財務・情報システム
担当兼執行役員財務部長

(氏名) 望月俊二

TEL 0598-51-8828

四半期報告書提出予定日 平成24年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	61,899	5.0	525	△35.0	588	△29.6	22	—
24年1月期第2四半期	58,969	2.4	807	42.5	835	21.7	△45	—

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 5百万円 (—%) 24年1月期第2四半期 △80百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	0.88	0.88
24年1月期第2四半期	△1.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	39,664	13,321	33.4
24年1月期	40,055	13,555	33.7

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 13,257百万円 24年1月期 13,501百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	—	—	10.00	10.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 2月期の連結業績予想(平成24年 2月 1日～平成25年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	—	2,400	—	2,400	—	680	—	26.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年2月期は13ヶ月の変則決算となるため、通期の対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
 - ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期2Q	25,510,623 株	24年1月期	25,510,623 株
25年2月期2Q	76,316 株	24年1月期	82,212 株
25年2月期2Q	25,431,781 株	24年1月期2Q	25,417,702 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	1 1
(5) セグメント情報等	1 1
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	1 1
(7) 重要な後発事象	1 1

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(2012年2月1日から2012年7月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災後の厳しい経済環境からは回復基調にあり、復興関連需要などにより一部に景気持ち直しの動きが見られましたが、一方で欧州債務危機の再燃や長期化する円高の懸念等もあり、足踏み状態が続きました。

個人消費につきましては、消費税率引き上げ法案が衆議院で可決されたこともあり、消費者の生活防衛意識の一層の高まりやデフレ傾向の長期化による節約志向などが見られ、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような環境の中、当社グループは継続的な成長と地域社会への貢献を目指し、更なる収益基盤の拡大、ローコスト経営の実現による収益性の向上に努めてまいりました。

収益基盤の拡大としては、2012年3月にマックスバリュ木曽川店(愛知県一宮市)、7月にマックスバリュ社店(名古屋市名東区)を新規出店するとともに、既存店舗では、6月にマックスバリュ笹川店(三重県四日市市)を全面改装し、食品ディスカウント業態への転換として、2月にバリューセンター高針店(名古屋市名東区)を「ザ・ビッグ エクスプレス高針店」にリニューアルオープンしました。また、お客さま満足の向上を目指し、「52週販売計画」「トップバリュ」「シニア」を最優先事項に掲げ、イオンのグループ力を活かしたトップバリュ商品の販売拡大に向けた「トップバリュ週間」の開催や、シニア世代のお客さまに優しい店舗づくりの推進などに取り組みました。更に、6月からは企業のサマータイム導入などライフスタイルの変化による早朝のお買物需要にお応えできるよう、午前7時開店の取り組みをスタートし、7月末日現在で実施店舗は77店舗(24時間営業店舗含む)まで拡大しました。

ローコスト経営の実現に向けては、プロセスセンターを活用したインストア作業の軽減などによる店舗オペレーションの効率化を推進するとともに、省エネ機器の導入や節電などにも継続的に取り組みました。

これらの取り組みにより、既存店売上高は前年同期比0.4%増となり、新規開店店舗の寄与もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は同4.9%増となりました。しかしながら、競合店との価格競争が一層厳しさを増す中、売上高荒利益率は24.3%と計画数値を0.3ポイント下回り、新規出店に伴う開店費用や販促費等も増加したことから、販売費及び一般管理費の増加率が営業総利益の伸び率を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益(売上高とその他の営業収入の合計)618億99百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益5億25百万円(同35.0%減)、経常利益5億88百万円(同29.6%減)の増収減益となり、四半期純利益は、減損損失1億91百万円など特別損失2億53百万円を計上したことにより、22百万円(前年同期は45百万円の四半期純損失)となりました。

なお、セグメントの業績は、当社グループは「商品小売事業」の単一セグメントであるため、記載をしておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億91百万円減少し、396億64百万円となりました。増減の主な内訳は、有形固定資産が2億87百万円減少したこと等によるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円減少し、263億42百万円となりました。増減の主な内訳は、買掛金が2億23百万円、流動負債の「その他」が5億23百万円、長期借入金が5億75百万円増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金が6億16百万円、設備関

係支払手形が9億90百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億33百万円減少し、133億21百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は13億91百万円で、前連結会計年度末に比べ24百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は17億93百万円(前年同期に比べ13億83百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億34百万円の計上、減価償却費10億49百万円及びその他の流動負債の増加額3億56百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は13億84百万円(前年同期に比べ7億53百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出14億78百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は3億83百万円(前年同期に比べ7億54百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入れによる収入10億円があったものの、長期借入金の返済による支出10億41百万円及び配当金の支払額2億53百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2013年2月期の連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2012年3月14日の「2012年1月期決算短信」で発表いたしました2013年2月期連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

(１) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(２) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(３) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(４) 追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 1 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 7 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,367,349	1,391,988
売掛金	582,238	653,371
商品	2,464,518	2,510,349
繰延税金資産	341,042	320,264
その他	2,825,669	2,870,307
貸倒引当金	759	726
流動資産合計	7,580,059	7,745,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,151,612	12,917,746
機械装置及び運搬具（純額）	160,026	149,988
土地	8,939,386	8,655,795
建設仮勘定	14,070	55,233
その他（純額）	1,749,112	1,948,110
有形固定資産合計	24,014,207	23,726,874
無形固定資産		
のれん	822,686	649,475
その他	194,802	189,204
無形固定資産合計	1,017,488	838,680
投資その他の資産		
投資有価証券	538,211	512,958
繰延税金資産	1,889,803	1,925,460
差入保証金	3,820,117	3,798,052
その他	1,360,159	1,231,163
貸倒引当金	164,292	114,269
投資その他の資産合計	7,443,999	7,353,364
固定資産合計	32,475,695	31,918,919
資産合計	40,055,755	39,664,474

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 1 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 7 月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,099,781	11,322,939
短期借入金	80,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,350,032	733,198
未払金及び未払費用	2,513,645	2,613,352
未払法人税等	544,217	358,065
未払消費税等	210,028	238,938
賞与引当金	349,253	342,935
役員業績報酬引当金	50,234	31,065
ポイント引当金	172,388	160,970
店舗閉鎖損失引当金	-	12,847
資産除去債務	6,501	6,501
設備関係支払手形	1,615,583	624,746
その他	1,077,793	1,601,206
流動負債合計	19,069,459	18,046,765
固定負債		
長期借入金	2,562,754	3,137,772
店舗閉鎖損失引当金	17,778	9,967
その他の引当金	8,176	4,453
長期預り保証金	3,391,691	3,426,780
資産除去債務	1,093,775	1,108,698
その他	356,857	608,187
固定負債合計	7,431,034	8,295,859
負債合計	26,500,493	26,342,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,850,498	3,850,498
資本剰余金	5,416,207	5,416,207
利益剰余金	4,345,502	4,113,557
自己株式	66,276	61,524
株主資本合計	13,545,931	13,318,737
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	44,698	61,171
その他の包括利益累計額合計	44,698	61,171
新株予約権	54,028	64,282
純資産合計	13,555,261	13,321,849
負債純資産合計	40,055,755	39,664,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 2 月 1 日 至 平成23年 7 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 2 月 1 日 至 平成24年 7 月31日)
売上高	57,544,499	60,352,540
売上原価	43,388,854	45,683,505
売上総利益	14,155,644	14,669,034
その他の営業収入	1,424,639	1,546,650
営業総利益	15,580,283	16,215,685
販売費及び一般管理費	14,772,747	15,690,407
営業利益	807,536	525,278
営業外収益		
受取利息	7,793	8,045
受取配当金	11,033	11,006
受取保険金	16,310	27,252
違約金収入	18,545	8,557
その他	38,073	50,918
営業外収益合計	91,756	105,780
営業外費用		
支払利息	48,315	34,343
その他	15,360	8,182
営業外費用合計	63,675	42,526
経常利益	835,618	588,532
特別利益		
貸倒引当金戻入額	578	-
役員業績報酬引当金戻入額	7,811	-
特別利益合計	8,389	-
特別損失		
固定資産売却損	-	62,426
固定資産除却損	13,419	-
減損損失	100,337	191,243
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	571,318	-
その他	21,740	-
特別損失合計	706,815	253,670
税金等調整前四半期純利益	137,193	334,862
法人税、住民税及び事業税	406,834	318,523
法人税等調整額	224,302	6,100
法人税等合計	182,531	312,423
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 ()	45,338	22,439
四半期純利益又は四半期純損失 ()	45,338	22,439

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	45,338	22,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,574	16,473
その他の包括利益合計	35,574	16,473
四半期包括利益	80,912	5,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,912	5,965
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,193	334,862
減価償却費	976,324	1,049,418
減損損失	100,337	191,243
のれん償却額	173,210	173,210
貸倒引当金の増減額(は減少)	440	50,056
賞与引当金の増減額(は減少)	39,581	6,317
役員業績報酬引当金の増減額(は減少)	9,356	4,265
ポイント引当金の増減額(は減少)	7,803	11,418
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	-	5,036
その他の引当金の増減額(は減少)	388	3,723
受取利息及び受取配当金	18,827	19,052
支払利息	48,315	34,343
固定資産売却損益(は益)	-	62,426
固定資産除却損	13,419	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	571,318	-
売上債権の増減額(は増加)	116,762	71,132
たな卸資産の増減額(は増加)	114,404	48,389
仕入債務の増減額(は減少)	1,538,964	223,158
未払消費税等の増減額(は減少)	8,993	29,181
その他の流動資産の増減額(は増加)	1,984	20,194
その他の流動負債の増減額(は減少)	637,964	356,126
その他の固定負債の増減額(は減少)	367	32,723
その他	3,198	49,378
小計	3,961,275	2,306,559
利息及び配当金の受取額	11,247	11,184
利息の支払額	34,346	23,047
法人税等の支払額	761,760	501,676
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,176,415	1,793,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	560,297	1,478,294
無形固定資産の取得による支出	27,121	26,472
有形固定資産の売却による収入	-	108,000
差入保証金の差入による支出	86,297	84,908
差入保証金の回収による収入	112,946	119,950
預り保証金の返還による支出	89,223	104,490
預り保証金の受入による収入	39,786	141,957
貸付金の回収による収入	1,135	1,170
その他	22,039	61,624
投資活動によるキャッシュ・フロー	631,110	1,384,712

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	500,000	80,000
長期借入れによる収入	2,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	2,384,052	1,041,816
リース債務の返済による支出	-	8,222
自己株式の取得による支出	66	3
ストックオプションの行使による収入	13	5
配当金の支払額	254,016	253,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,138,122	383,669
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,407,183	24,638
現金及び現金同等物の期首残高	1,217,676	1,367,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,624,859	1,391,988

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2011年2月1日 至 2011年7月31日)及び当第2四半期連結累計期間
(自 2012年2月1日 至 2012年7月31日)

当社グループは、商品事業及びこれらに付帯する業務の単一事業であり、開示対象となるセグメントがないため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。